

私の店(五島軒)は来年で満88年になります。私は3代目で、洋食屋に生まれ洋食屋に育つた根つからの洋食屋です。日本料理の中に洋食が沢山入っています。パン、テンブラ、トンカツ、カレーライス等はそうです。洋食が日本に入ってから既に100年になりますが、一面から見ると洋食の発展と函館の経済的な発展とは関連性があるように思います。今日は私の店を中心にした明治初年来の新聞の切抜きなどを持参しましたので、それを参考にお話します。

私の店は明治12年に開店しております。朝NHKのテレビで「おはなはん」のドラマを見ている方が多いと思いますが、あのヒゲカツの店の椅子の形やボーイの服装は、私の店の明治30年頃の写真と同じようです。私の祖父は埼玉県鴻巣の出身で、明治10年に来道しておりますが、ようやく明治19年に八幡坂下角に店らしい構えを持つようになりました。当時の新聞広告には、横浜からフランス帰りの優秀なコックを雇い入れ、30名以上の宴会が出来るということが候文で書かれています。当時の値段ですが、上食1人前50銭、中食が25銭、パン1斤8銭とあります。又洋食器、洋酒罐詰等は銀座松坂屋向の亀屋鶴五郎という店から送つて貰い、祖父の妹が桜正宗東京店の支配人に嫁いでいたので、現在まで桜正宗を用いております。五島軒の名称は、長崎県五島列島出身の通称五島さんという人が、函館戦争の後ハリスト教会でロシア料理を習得し、この五島さんを祖父が雇用して名付けたものようです。

当時洋食店の経営は成り立つだけの素地はあつたようです。当時の函館の人は案外洋食を食べ、パンを食し、ウオツカ、ブランデー等も飲んでいたので、又私の店より古く養和軒とかカネキ木村という店もありました。私の母方の祖母は日本で一番最初に洋風の帆船を造つた続豊治の孫です。母方の祖父は当時既にロシアの服を着ており、晩酌にウオツカを呑み、死ぬ間際にタンシチューを要望したとの話が残っています。母方の祖母の兄が福土成豊です。明治9年母が若山へ嫁ぐことになった時、パンと洋食の店なら将来性があるからとすすめられたそうです。

明治40年の大火後現在の所に越して来ました。日本で最初に肉屋を開業した山田亀吉さんの別荘跡で、山田さんはブラキストン商会のお抱えコックでした。私の祖父は山田さんから料理を習つたのではないかと思います。

私の父親は料理を作ることが非常に好きで、60才で亡くなる直前まで白衣を離さず料理を作つておりました。昭和の初期の7円か8円位の料理の献立を現在と比較検討しましたところ、1万5千円位の価格になります。それだけのものを函館人が食べていたことになります。過去をふりかえつて、私などはまだまだ父の商売には及ばないような気が致します。



通算才146号

36~1967-1-4

函館北ロータリークラブ

第130回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

- 司会 飯田会長
- 斉唱 君が代 奉仕の理想
- ビジター 大坂谷道三君他4名(函館)
飯田貞一君他3名(函館東)

会長挨拶

函館には珍しい大雪です。大雪になれば地温が下がり、虫の卵やバクテリアが死に、従つて豊作が期待されます。尚今日は理事会を行ないません。

お知らせ

日本ロータリー史編集委員会及びロータリー連絡委員会の事務所が変更になります。東京都千代田区有楽町1-5 有楽町ビル10階

ニコニコ箱

1. お誕生日おめでとう 遠藤君(1日) 木屋君(5日)
山内君(15日)
2. 御結婚記念日おめでとう 俣野君(20日)

木材の輸入問題で10月末からヨーロッパに行き、10日前にはモスクア、1週間前にはアラスカにありました。

今年も又漁業交渉が始まります。日本は自由主義国家なので勿論交渉は自由ですが、ソ連のような社会主義国家は窓口が一本で、役人が大きな権限を持っています。漁業に関する一切はインコフ漁業大臣が決めます。先般日本は木材の交渉をやりましたが、これは日本側が自分の首をしめる結果になりました。それは各商社が向こうの売り値より競争して高く買おうとし、相場をこわしたからです。かつて町村知事が「共産主義国との貿易は窓口を一本にしなければならぬ」と言つておられたが、全く同感です。然し面白いこともあります。ニン、カズノコは通産省が一本にまとめているので、8年前と同じ安い値で輸入しているのです。利益は、道では道漁連に入れています。

私はソ連には18回、中国には9回、その他イタリー等ヨーロッパにも数回行きました。そして最近感じられることは、ソ連と中国は非常に仲が悪いということです。公然とお互いを非難しています。面白いことに、最近のソ連は少



通算才147号

1966~1967-1-11

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第131回例会

本日のプログラム 映画 ロータリーについて

しづつ自由化しています。例えば銀行では利子をつけるようになった。そうになると国民は貯金を始める。金を貯めて別荘を建てる。山林を買い。個人の財産をふやし、少しでも楽な生活をしたいと願う。又冬でも競馬をやつていて、国民は馬券を買い熱狂している。旅行も自由に出来るようになった。鉄のカーテンを外したので、他国の派手な生活が目に入るようになったため、国民は承知しないのです。従来ソ連には敵なものがありませんでした。従つてソ連人は外国の物を非常に慾しがつています。又労働者も早平等ではなくなつてきました。ノルマは依然としてありますが、成績が良ければ金になるからです。

然し官僚的なところもあります。ソ連は国会議員優先です。私はウクナイホテルに泊りましたが、国会議員が来たら部屋を出されることになつてゐること、ビクビクでした。料理も国会議員だけ特に安くなつてゐます。又道路には二本線があつて、中央部は偉い人だけが通ることになつてゐました。

一番困つてゐるのは青少年問題のようでした。年とつた偉い連中は労働者から叩き上げたのが多いが、その息子や娘達は良い生活に馴れてしまつてゐるからです。彼等は外国を崇拜し、外人に近付いて良い物を貰おうとします。彼等が大きくなつたら一体どんな考えを持つてでしょうか。

日本に対する評判は非常に良いようです。ミコヤンが日本を見て驚いて帰りましたが、その感想をテレビでやり、それが大きな反響を齎したようです。アメリカとの仲も良いようです。むしろ中国は、アメリカとソ連はぐるぐると言つてゐます。アメリカとソ連が本確的に貿易を始めたなら日本は勝てないと思ひます。又中国では、日本はアメリカの基地である、佐藤内閣はダメ、自民党もダメ、ソ連も必ずしも共産主義ではないからけしからんと言つてゐます。

統計でみると、日本が中国に対する貿易額が年6億ドル、ソ連とは4億ドルです。中国は日本から買わねばならないし、又売らねばならないのです。今後はソ連との伸びはあまり期待出来ないが、中国との貿易はまだまだ伸びるでしょう。函館にとつてみても、日産化学の肥料とか、函館ドックの船等はまだまだ伸びる余地がありそうです。

出席報告

- 1. 先週の確定出席率 75.86%

会員数29名	当日出席18名	マークアップ4名	計22名
--------	---------	----------	------
- 2. 他クラブの状況

函館9	2.45%	函館東9	3.51%
-----	-------	------	-------

○ 次回例会日は 1月18日です。是非出席を、そして当日出席出来ない方は必ずマーク・アップを心掛けて下さい。

- 司会 飯田会長 斉唱 我等の生業
- ゲスト 高野伊三郎氏(道警本部交通課長)
- ビジター 川端久雄君他4名(函館) 出村喜作君他6名(函館東)
- 会長挨拶

「ロータリーの友」1月号8頁の「よく働く歯車」と題するボチャード氏(岐阜南RC)の文章にうたれました。ロータリーのマークである歯車のキースロットのしくみについて説明があり、歯車の構造のこれらの重要な機械面それぞれの部分と、ロータリアンとしての我々に対するそれらの意味については完全な小論文が書かれるでしょうと述べています。私達もキーとなり歯車となつて、ロータリーの円滑な運動をすすめるため働きたいものです。

幹事報告

- 1. 例会終了後クラブの臨時総会を行ないますので全員お残り下さい。
[臨時総会に於いて、拓銀駅前ビル落成の場合には例会場を同ビル内五島軒に変更する案を全員異議なく賛成可決しました。]
- 2. 1月21日15時より五島軒で、函館ラサール高校のインターアクト・クラブのR.I.認証状伝達式を行ないます。出席義務者は次の方々です。
会長 副会長 幹事 インターアクト委員長 SAA 社会奉仕委員長 国際奉仕委員長 クラブ会報委員長 雑誌委員長

ニコニコ箱

飯田会長 例会遅刻(大雪のため車が僅か3分遅れましたが) 金賞
第360区国際学生交換計画について 函館東RC 大奏康光氏
昨年9月にもパンフレットで御説明しましたが、一昨日滝本バスターガバナー(地区国際学生計画委員長)から、女子学生1名の受入れを道南でやつてほしいとの依頼が参りました。東クラブでは富田さんと三富さんの申し出があり、北クラブでもどなたか御協力をお願いします。滞在は一家庭2~3ヶ月のまわりもちとし、費用は1クラブで3~5万円出し、それに地区資金をプラスします。学校は遺愛高校ときまりました。

高野伊三郎氏